

評価会議（令和元年度期末）における委員の評価及び意見

受託者等に対する評価

1 項目ごと評価

評価項目		A委員	B委員	C委員	
支援の内容および効果等	議会の取組 (イメージ) 自律的運営に向けた地域活動協	(1)「地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等 (配点5点)	3点	3点	4点
		(2)「つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等 (配点5点)	4点	3点	4点
		(3)「組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等 (配点5点)	4点	3点	4点
	事業の実施体制等	(1)自由提案による地域支援の状況（実績）及び効果等 (配点5点)	3点	4点	4点
		(2-1)スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる支援状況（実績）及び効果等 (配点5点)	4点	2点	4点
		(2-2)フォロー(バックアップ)体制等にかかる支援状況（実績）及び効果等 (配点5点)	4点	3点	4点
		(3)区のマネジメントに対応した取組にかかる支援状況（実績）及び効果等 (配点5点)	4点	3点	3点
	策(取組) 今年度の重点支援	区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策(取組)にかかる支援状況（実績）及び効果等 (配点5点)	4点	3点	4点

主な意見等

- ・現状分析に多くの記述が割かれているが方策を想定した次の課題を析出して欲しい
- ・多様な主体とのつながりに向けた取り組みは評価すべき
- ・(組織運営にかかる支援実績として)緻密な支援があると思う
- ・保守的な地域である事は理解できるが、それなりの方策を示して欲しい
- ・区自身が、地活協に求められている将来方向性を明確に示すべきではないか
- ・各連合町会ではない「地活協」をどれだけイメージ化して、打ち出せるかがカギだと思う
- ・ボランティアとのマッチングについて、受け入れる役員の意識を変えないと、せっかくやる気

になった人が逃げてしまうのではないか。アンケート問2の「10 地活協以外の活動主体との連携・協働に向けた支援」で「③（役に立った）あまりそう思わない」が約33%もあったのが残念

- ・会計担当者を対象の情報交換会特別編や、今福オリジナルソフト普及の取り組みなどは評価できる
- ・地域の要望に応じた支援で、全体的に自律度のステージが上がったことは評価できる
- ・支援員1人4地区体制が（顔を覚えてもらう）初期の段階では機能したのだろうが、今年度はやり方を変えてみてもよかったのではないか
- ・区の方針が「コミュニティ回収」なので仕方ない面もあるが、財源確保やCBが目的であるなら、ほかのやり方もあったのではないか、と思う
- ・ボランティア・市民活動センターとの連携が強みだったが、地域のニーズに合わせようとするあまり「重点支援策」が多くなりすぎ、大変だった（焦点がぼけてしまった）のではないか
- ・既存住民、新規住民。そのつながり拡充に注力するのか、その垣根を取り除く程の危機感を抱かせる地域問題を共有化する必要があると思われる。従来の形にとらわれない取り組みを考える必要があると思われる

(採点基準)

- 5点：期待レベルをはるかに上回っている。
- 4点：期待レベルを上回っている。
- 3点：概ね期待レベルに達している。
- 2点：期待レベルを下回っている。
- 1点：期待レベルに全く達していない。